## 別表第1 直接測定による出来形管理

-	□ 種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
1	掘削	基準高(∀)	± 65	± 100	線的なものについては 施工延長おおむね 50m
共通		幅(W)	基準幅、 小段幅等 + 2300 2-2100	150	につき 1 箇所の割合で 測定する。 上記未満は 2 箇所測定
エ		法長(L)	法長 5 m未満 ± 125	200	する。 箇所単位のものについ ては適宜構造図の寸法
事		施工延長		200	標示箇所を測定する。
	盛土	基準高(∀)	, ± , 65	,±., 100	上記と同一。
		幅(W)	天端幅、 小段幅等	150	
		法長(L)	法長 5 m未満 ± 65	100	
			<b>″</b> 5 m以上 ± 1.3%	2%	
		施工延長		200	

管		式		
管理図表に よるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表 によるもの (様式 3-1)	構造図に朱 記、併記す るもの	測定箇所標準図	摘 要
基準高、幅、 法長で20点 以上のもの	左記のもので20点未満のもの	左記のもので箇所単位のもの		
同上	同 上		W <sub>2</sub> L <sub>1</sub> L <sub>3</sub>	余盛を指令という。

共 コンクリート プロック積み プロック積み	測定基準
共       コンクリート プロック積み 石張工       厚さ(T₁)       石面より裏込コンクリート ・ 30 - 50       上記 ・ 30 - 50         工       コンクリート プロック張り       法長2 m未満 ± 25 - 40       海にフ測定 ・ 30 - 50         河川護岸は除く       法長(L)       ※ 2 m以上 ± 50 - 75       協所 ・ 100 ・ 50m以上 50m未満 ・ 100 ・ 50m以上 200m未満 ・ 200       協所 ・ 100 ・ 50m以上 200m未満 ・ 200	的なものについては
工 石張工 コンクリート まで - 65 - 100	工延長おおむね 20m つき 1 箇所の割合で 定する。
事     コンクリート ブロック張り (河川護岸 は除く)     法長2 m未満 ± 25	
事       ブロック張り       法長(L)       法長2 m未満 ± 25       40       箇所 m以 ねし かっただし延長 10m未満 - 50         施工延長       10m以上 50m未満 - 100 50m以上 200m未満 - 200       100 50m以上 200m未満 - 200         出日       10m以上 50m未満 - 200       10m以上 200m未満 - 200	[さ( T 1、T 2)の測定は セ、法長 2 m未満は 1
河川護岸   r 2 m以上 ± 50	所(おおむね <sup>L</sup> / <sub>2</sub> )、2 以上は2箇所(おおむ
施工延長 ただし延長 10m未満 - 50 標示 10m以上 50m未満 - 100 50m以上 200m未満 - 200 法長の1% ロ凸 (コンクリートブロッ	<sup>L</sup> / <sub>3</sub> 、 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> L )測定する とを原則とする。
- 100 50m以上 200m未満 - 200 法長の 1 % 凹凸 (コンクリートブロッ	所単位のものについ は適宜構造図の寸法 示箇所を測定する。
法長の1% 凹凸 (コンクリートブロッ	
	要構造物は全数、それ 外は施工本数 20 本当
木杭   深礎杭 ± 30   深礎杭 ± 45   満は   支持	リ1本測定し、20本未 は2本測定する。 持杭については打止
プレキャスト	沈下量を全数測定す 。
コンクリート   別表ア参照   別表ア参照     杭   偏心 (e	
場所打杭	
深礎杭	

管		式		
管理図表に	結果一覧表			
よるもの	によるもの		測定箇所標準図	摘 要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの		313
2-2)	(136200.)			
基準高、厚	左記のもの	左記のもの		基礎コンクリ
さ、法長で	で20点未満		> v	ートは 91 コ
20 点以上の	のもの	のもの及び		ンクリート基
もの		施工延長	// <b>S</b> EPRI	礎を適用す
				る。
			. // ১//	
			L/	
			T <sub>2</sub>	
			/ / //	
			<del>\</del>	
			49-1014	
			\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
			27/	
			$T_2$	
			1 %	法長の1%と
			77/	は、山と谷の
				差の絶対値を
			•	いう。
	基準高、偏			場所打杭と
	心。			は、オールケ
	なお、別に			- シングエ
	支持力を示			法、リバース
	したものに			工法、アース
	ついては、 杭打ち成績			ドリル工法と する。
	表(様式 4)			9 <b>3</b> 。
	による。		V	
	1000			
			(y 1 2 )	
			$e = \frac{x^2 + y^2}{}$	

-	匚 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
1 共	矢板打工 (矢板護岸を 含む)	基準高(∀)	±. 30 .±. 65	, ± , 45	線的なものについては施工延長おおむね 20m につき 1 箇所の割合で測定す
通	,	中心線の ズレ(e)			る。 上記未満は2箇所測定す
工		施工延長		- 0.1%、 ただし延長 200m未満 - 200	<b>వ</b> 。
<u>,</u>	オープンケーソン	基準高(∀)	.±. 65	, ± /, 100	構造図の寸法標示箇所を 測定する。 幅、厚さ、長さについて
		幅(B)	.± 13	20	は1ロット毎に測定する。
		厚さ(T) 高さ(H)	.± 65	100	
		長さ(L)	.± 30 200	300	
		偏位(e)	200	300	

	··	_15	T	
管		式		
	結果一覧表	構造図に朱		
よるもの	によるもの	記、併記す	測定箇所標準図 摘	要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの		
2-2)				
基準高、中	左記のもの	左記のもの	中心総	えのズレ
心線のズレ	で 20点未満	で箇所単位	e_ は中心	線より
で 20点以上	のもの及び	のもの	V   右を	+ 左
のもの	施工延長			こする。
				設は基
				が明記
			data	きの。
			'de	
	構造図に朱	基準高、幅、		
	記、併記す	厚さ、高さ、	L <sub>1</sub>	
	ることが困	長さ、偏位	T <sub>8</sub> T <sub>9</sub> T <sub>10</sub>	
	難なもの			
			$\left \begin{array}{c cccccccccccccccccccccccccccccccccc$	
			14 15 15 16 17 17	
			$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	
			v	
			e 1	
			• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	

-	□ 種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
1 共 通 工 事	栗石基礎 砕石基礎 砂基礎 均しコンクリ ート	幅(B) 厚さ(T) 施工延長	栗石基礎、砕石基礎 - 130 砂基礎、均しコンクリ ート 65 栗石基礎、砕石基礎、 砂基礎 30 均しコンクリート - 13	- 200 - 100 - 50 - 20 - 0.2%、 ただし延長 50 m 未満 - 100	線的なものについては 施工延長おおむね50m につき1箇所の割合で 測定する。 上記未満は2箇所測定 する。 箇所単位のものについ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で
	コ付 コ基 コ側 コ管 横 コ擁 そ準ン帯 ン礎 ン溝 ン渠 断 ン壁 のずり造 リーリーリー 造 リー上もりの トートートートートートートートートートートートートートートートートートートー	基準高(V) 幅(B) 厚さ(T) 高 工延長さ)	# 30  # 20  部材厚 30 cm未満	± 45  - 30  - 20  - 25  - 30  - 45  - 0.1%、  ただし延長 2m未満 - 30 10m " - 50 50m " - 100 200m " - 200	線的な構造物について20mでは、1 箇所の割合では、20mで割記までは、20mで割記までは、20mで割記を割け、20mででは、1 では、1 では、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mででは、20mでは、20mででは、20mでは、

				Г 1
管		式		
管理図表に	結果一覧表			
よるもの	によるもの	記、併記す	測定簡所標準図	摘 要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの		
2-2)				
	重要構造物	左記のもの		
	の基礎のみ	で箇所単位		管水路の基礎
	及び施工延	のもの		は「8 管水路
	長			工事の管体基
				礎工(砂基礎
				等)」による。
			В 5	
			<u> </u>	
基準高、幅、	左記のもの	箇所単位の		
厚さ、高さ	で20点未満			
で20点以上	のもの又は		B <sub>1</sub> B <sub>2</sub>	
のもの	構造図に朱		V	
07 007	記、併記す	さ、高さ	<u> </u>	
	ることが困	C、同C	H <sub>2</sub>	
			Hı	
	難なもの		Нз	
	及び施工延		<u> </u>	
	長		B <sub>3</sub>	
			•	
			<del> </del>	
			Fit + + +	
			B <sub>3</sub> H <sub>2</sub> H <sub>1</sub>	
			N   N   N   N   N   N   N   N   N   N	
			$T_3$ $T_{3}$ $T_{5}$	
			Bi Bi	
		1		

	□ 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
1	精度を要する もの	基準高(V)	,±., 15	, ± , 20	構造図の寸法標示箇所 を測定する。
共	分水工計量部	幅(B)	, ± v, 7	, ± /, 10	
通工	ゲート戸当部	厚さ(T)	.±., 13	,±, 20	
事	橋台沓部	高さ(H)	,±., 7	, ± , 10 , ± , 10	
,		長さ(L)	,±., /	.±., 10	
	U 字溝	基準高(V)	, ± , 25	, ± 4, 40	施工延長おおむね 50m につき 1 箇所の割合で
	U字フリュー ム	中心線の ズレ(e)	.±., 30	), ± 2, 50	測定する。
	ベンチフリュ ーム	施工延長		0.1%、 ただし延長 200m未満 200	
	土水路		指定したとき ± 65	±., 100	上記と同一。
	工小四	基準高(V)	.+ 100 50	75	
		幅(B)	指定したとき	10	
		高さ(H)	. + 2. 100 2. 50	2 - 2 75 2 - 2 0.2%	
		施工延長		ただし延長 200m未満 - 400	

<u>~~</u>		<del></del>		
管のまた	,	式		
管理図表に	結果一覧表			+ <del>+</del>
よるもの	によるもの	記、併記す	測定簡所標準図	摘要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの		
2-2)	1#5# FT 1 - 4L	++ >+- +-		
	構造図に朱			
	記、併記す		B <sub>1</sub>	
	ることが困	長さ	$\xrightarrow{B_1} \xrightarrow{T_1}$	
	難なもの		B <sub>3</sub> V B <sub>5</sub>	
			V	
			H <sub>1</sub>	
			/   "	
			/	
基準高、中	左記のもの			
心線のズレ	で20点未満		<u>و</u> ب	
で 20点以上	のもの及び			
のもの	施工延長			
			V )	
			!!	
基準高、幅、	左記のもの			
高さで20点	で 20点未満			
以上のもの	のもの及び		ب 	
	施工延長		B <sub>1</sub>	
			· · · ·	
			/ \	
			[ B <sub>2</sub> ]	
			$\downarrow \qquad \qquad \downarrow$	

	工  種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
1 共 通	鉄筋組立	かぶり( t )		<ul><li>** かつ最小かぶ り以上</li><li>: 鉄筋径</li></ul>	測定箇所標準図に よる。 1スパン(1打設ブロック)毎に測定す る。
工事					
				<b>±</b> ,	
		中心間隔 (b)		: 鉄筋径	

管	理方	式		
管理図表に	結果一覧表	構造図に朱		
			测空等标播港网	摘 要
よるもの	によるもの	記、併記す	測定簡析標準図	1月 女
(様式 2-1、	(様式 3-6)	るもの		
2-2)				
-		-	鉄筋のかぶり(t)の測定位置(ボックスカルバートの例)	1 面当たり
			<u>斯面図</u> <u>側壁部</u> B/3程度 B/3程度 B/3程度 U3程度 U3程度 U3程度 U3程度 U3程度 U3程度 U3程度 U	4 箇所程度
			B/3程度 B/3程度 B/3程度 L/3程度 L/3222222222222222222222222222222222222	測定する。
				同一鉄筋上
				での測定は
			†	行わない。
			V EV AB	
			頂版、底版部 A部詳細図	
			B 8/3程度 B/3程度 B/3程度 かぶり(t) ↓	
			0400	
			芸蔵版	
			配力鉄版	
			かぶり()	
			を表示して、	
			<b>→ A 利用 (人 ) 本 お ウ (木 原 / ) * - 1 * ( )</b>	4 7 14 4 40 44
			中心間隔(b)の測定位置(ボックスカルパートの例) 新面図 側 駅 部	1面当たり鉄
			中心関隔(b)の測定位置(ポックススルルパートの例) 断面図 例 壁 部	筋10本程度
				筋10本程度 の間隔を測定
				筋10本程度 の間隔を測定 する。
				筋10本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、
				筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同
				筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら
				筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同
			斯 面 図	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら
				筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			斯 面 図 例 學 爺 の	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			斯 面 図	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			斯 面 図	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			所面区 侧壁	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			斯 面 図	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			所面区 侧壁	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			所面区 侧壁	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			所面区 侧壁	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			所面区 侧壁	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			所面区 侧壁	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			所面区 侧壁	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			所面区 侧壁	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			所面区 侧壁	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測
			所面区 侧壁	筋 1 0 本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測